



2018年 1月 通巻59号

## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

貯玉補償基金設立から10年を経過した昨年12月末には、おかげさまで当基金にご加入いただいたホール様の数は6,500店を超えました。これは偏に行政ご当局のご指導と関係諸団体のご理解・ご支援のもと、「貯玉システムの適正な運用とシステム利用者の利益保護」への理解がいっそう深まった成果であると感謝しております。

さて、昨年当基金の主な事業内容でございますが、ホール経営法人の倒産に伴う貯玉補償を3法人（3店舗）で実施しました。

本年も、ファンとホールの皆様にとりまして、貯玉システムが「安心・安全」の礎となりますよう、当基金も努力してまいる所存です。ご関係各位の皆様におかれましては、なお一層のご指導・ご鞭撻をいただきますよう、お願い申し上げます。

末筆ではございますが、今年も皆様にとりまして、よい年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

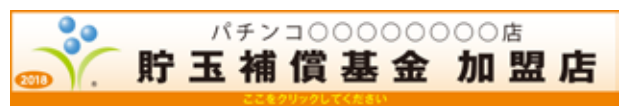
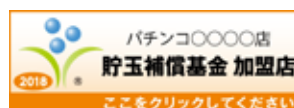
一般社団法人貯玉補償基金  
代表理事 庄司 孝輝

## 2018年版「貯玉補償基金ポスター・ステッカー」の発行と「加盟店確認用バナー」の提供



当基金では2018年版ポスター、ステッカーを作成し、昨年末、加盟店に配布いたしました。

また、貯玉補償基金加盟店であることを周知できる「加盟店確認用バナー」も2018年版に更新いたしました。



貯玉補償基金加盟店  
確認用バナー

2018年版 貯玉補償基金ポスター  
<841×728mm/B2判>

## 補償実施報告

第78回理事会にて補償適用承認を受けた有限会社ウインズ(西武103:群馬県みどり市)の貯玉補償を平成29年12月に実施しました。